

2006年（平成18年）度
生鮮食料品流通情報データ通信システムに係る
業務・システム最適化実施評価報告書

2007年8月10日
農林水産省行政情報化推進委員会決定

1. 生鮮食料品流通情報データ通信システムに係る業務・システムの概要

項目	内容
個別管理組織担当課室名	農林水産省大臣官房統計部生産流通消費統計課消費統計室
府省全体管理組織 担当課室名	農林水産省大臣官房情報課
対象期間	2006年4月1日～2007年3月31日
最適化工程の段階	企画段階

2. 企画段階における評価

(1) 最適化効果指標・サービス指標一覧の策定

(最適化の実施内容)

生鮮食料品流通情報データ通信システムに係る最適化効果指標・サービス指標一覧の策定

(最適化の実施状況)

(ア) 最適化効果指標・サービス指標一覧の主な内容

- ① 年間延べ約1.6万時間（試算値）の業務処理時間の短縮が見込まれる。
- ② 年間約1.7億円（試算値）のシステム運用経費の削減が見込まれる。

(イ) 最適化の実施状況

農林水産省行政情報化推進委員会において「生鮮食料品流通情報データ通信システムに係る最適化効果指標・サービス指標一覧」を決定（2006年6月30日）。以下のURLにおいて公表（2006年7月3日）。

http://www.maff.go.jp/www/sinsei/seisen_saitekika/service_list.pdf

【最適化実施の評価】

○課題及び問題とその原因

なし

○対策

なし

(2) 最適化の実施

(最適化の実施内容)

最適化計画の「民間委託の推進等による効率化」の方針に則り、①2006年4月から地方組織が行っていた畜産物市況情報のデータ収集、取りまとめ及び報告業務、②2006年7月から青果物市況情報等のデータ到着及

び収集状況等報告監視業務を民間事業者に委託し、効率化を実施した。

(最適化の実施状況)

- (ア) 畜産物市況情報のデータ収集、取りまとめ及び報告などの民間委託
畜産物市況情報等については、地方組織で行っていた情報の収集、取りまとめ及び報告業務を、2006年4月から民間事業者に委託し、年間延べ約9,100時間の業務の効率化を図った。
- (イ) 青果物市況情報等のデータ到着及び収集状況等報告監視業務の民間委託
青果物市況情報等については、データ到着及び収集状況等報告監視業務を、2006年7月から民間事業者に委託し、年間延べ約1,800時間の業務の効率化を図った。

【最適化実施の評価】

○課題及び問題とその原因

民間業者への委託に当たっては、問題なく移行できるようデータ提供元等への理解を求める必要があった。

○対策

委託に当たっては、事前にデータ提供元等へ説明を行い、周知を図った。

3. 最適化の効果の評価

民間委託の推進等により業務削減処理時間の削減効果が発現するものの、最終的な評価はシステムを刷新する2010年度に最適化効果指標・サービス指標一覧を含め、行うべきと考えている。

なお、2006年度における民間委託の推進等については、最適化計画を踏まえ、一部を前倒しして取り組んでいるものを含め、順調に推移している。

4. 最適化実施の総合評価

(1) 課題管理・対応状況

本業務・システムは、最適化計画に沿って民間委託の推進を図り、効率化を行った。今後も、情報提供者等との調整を図りながら、最適化計画に沿って2008年度より設計・開発に向けて取り組むこととしている。

(2) 総合評価

評価の結果、今後も引き続き最適化計画に沿って実施すれば特段支障がないと認められる。

5. その他

個別管理組織の人材育成を目的とした現行システムの勉強会（全4回（2006年9月～12月））を、次のとおり実施した。

テーマ：第1回 システムの概要（データ処理の流れ）

- 第2回 システムの運用（データ収集・配信の仕組み）
- 第3回 システムの運用（データ編集の仕組み）
- 第4回 契約・制度の概要

6. 添付書類 なし